

ワクチンデビューは生後2か月から

5種混合ワクチンの 予防接種を受けましょう



ジフテリア

感染すると息がしにくくなり、心臓障害や神経麻痺を起こすこともある重篤な病気です。

百日せき

風邪のような症状ではじまり、徐々に咳がひどくなり顔を真っ赤にして連続的に咳き込むようになります。年齢が低いほど症状は重く、無呼吸発作やけいれんを起こすこともあります。

破傷風

土の中に潜んでいる破傷風菌が傷口から侵入して感染する病気です。けいれんや口が開かないなどの症状が現れます。

ポリオ

ポリオウイルスによって手や足に麻痺が起こり、後遺症が残ることもあります。「小児麻痺」とも呼ばれています。

Hib*感染症

髄膜炎や敗血症などの重い病気を起こすことがあります。ほとんどが乳幼児で発生しますので、注意が必要です。

*インフルエンザ菌b型

生後2か月から

1回目

20日以上*

*20～56日の間隔

2回目

20日以上*

*20～56日の間隔

3回目

6か月以上**

**初回免疫後6か月～18か月後

4回目

追加免疫

初回免疫(1～3回目)

合計4回の接種を受けると基礎免疫が完了します。特に、4回目の接種を忘れないように、上手に接種スケジュールを組みましょう。

ワクチンを接種することは感染症から人々や社会を守るというベネフィットがある一方、副反応のリスクもあります。ワクチン接種に関して気になることは、お住まいの市区町村またはかかりつけ医に相談しましょう。

標準的な
接種スケジュール